

最新の船に興味津々

親子40人が「大成丸」体験

千葉港

船員を養成する最新鋭の汽船練習船「大成丸」(村田信船長)が10日、千葉港の千葉中央ふ頭I岸壁(中央区中央港)に入港した。船について学ぶ海洋教室が開かれ、参加した親子約40人が船の構造や航海士らの仕事に理解を深めた。11日は船内が一般公開される。

大成丸は全長91・28メートル、全幅15・50メートル、3990トン。

独立行政法人・海技教育機構が保有する2014年建造の練習船。海上技術短期大学校専修科の実習生112人と職員・乗組員45人が乗船し、内航船の主要航路



海洋教室で大成丸の甲板を見学する親子=10日、中央区の千葉中央ふ頭I岸壁

を航行しながら訓練を重ねている。市民らに千葉港を身近に感じてもらうと、海の大切さを考える「海と日本プロジェクト」の一環で入港した。海洋教室では、参加者が興味津々な様子で船に乗り込み、甲板や最新鋭の設備、実習生が過ごす部屋、食堂などを見て回った。航海士らの指導の下、舵輪(だりん、ハンドル)を握って航行を体験する操舵(そくた)シミュレーターや、機関室でのエンジン操作などを体験した。

都内から訪れた小学4年、斉藤花倫さん(9)は「操舵室に機械がたくさん並んでいてびっくり」。双子の駿汰郎君(9)は「思ったより広くていろんな部屋がある」と話した。中村直哉一等航海士は「一般の人が乗る機会は少なく、貴重な機会。大成丸を通じて船や港について知ってほしい」と期待する。

11日は午前9時半〜11時半と午後1〜4時、申し込み不要の船内見学会が開かれる。乗船は各終了時間の30分前まで。28日には帆船「みらいへ」



千葉港に入港した汽船練習船「大成丸」

が入港し、小学4年生以上の親子を対象とした無料体験乗船会が開かれる。午前と午後で各60人。14日まで申し込みが必要で、応募

者多数の場合は抽選。問い合わせ、申し込みは海の月間活性化委員会(千葉港運協会内)☎043(248)1153。

水の大切さ
親子で学ぶ
柏井浄水場見学会
県水道局は、花見川区柏井町の柏井浄水場で、小学生と保護者を対象にした「夏休み親子浄水場見学会」を開いた。

見学会は、水の大切さや安全確保の取り組みを知ってもらうと毎年開催。参加した15組37人は実験で浄水の仕組みを学んだ後、取水場から送られてくる原水をためる施設や洗浄タンクなど浄水場内を見て回った。写真。出来たての水道水と市販のミネラルウォーターを飲み比べる「利き水」も体験した。

同見学会は、松戸市栗山のちば野菊の里浄水場でも行われ、16組41人が参加した。



稲毛を知る交流の場

千葉大生が無料カフェ

きょうまで

市民ギャラリー・いなげ内にある国登録有形文化財「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」(稲毛区稲毛1)で10日、千葉大学の学生が手作りカフェを開いた。11日まで、



学生が手作りしたかき氷やコーヒーが無料で楽しめる「カフェkaiiki」10日、稲毛区

コーヒーやかき氷を無料で提供する。

「カフェkaiiki」は、稲毛の歴史や文化を知ってもらう交流の場にしようとして、アートと社会との関わりを探索する「千葉アートネットワーク・プロジェクト(WICAN)」が2011年から毎年開いている。同別荘が建てられた大正

時代の流行歌が流れ、戦前に製造されたとみられるかき氷器を使用してレトロ感を演出。かき氷には同ギャラリー内で収穫した夏みかんのシロップを使い、井戸水に足を入れて暑さをしのぐ「足水」も楽しめる。

友人と訪れた市立葛城中1年の坂元瑠夏さん(13)は「皆さん楽しそうに話していて、話し掛けやすかった」と心地よいひとときを満喫。同大教育学部の神野真吾准教授(49)は「地域に文化の拠点があることはあまり知られていない。地域にあるものを生かす、多世代が交流する場になれば」と話した。

11日は午後0時半から4時半まで。問い合わせは同ギャラリー☎043(248)8723。

市内産農産物の消費拡大を図ろうと市は、地産地消に積極的に取り組む飲食店などを登録してPRする制度「市つくだべ推進店」を始めた。本年度はモデル店として飲食店15店舗を含む市内計21事業所を登録。効果的なPRや農家と飲食店のマッチング方法などを検証し、来年度以降の登録店拡大につなげる。



地産地消推進店の登録証に描かれる「つくたべ」ロゴマーク(市提供)

農作物の消費拡大へ

市内で「つくたべ」始動

「つくたべ」は「市内でつくって、市内で食べてもらう」との願いから生まれたキャッチフレーズ。同制度では、市内産農産物を気軽に食べられる場や購入できる店を登録して「見える化」し、市内外に周知して地域活性化を目指す。推進店にロゴマークを描いた登録証を配布し、店内に掲示してもらう。

市農政課によると、一定の広さの農地が売り上げのある市内農家は、2015年時点で1090戸。ニンジンや小松菜、ラッキョウなど幅広い農産物が生産されている。

市内では地元産食材を使

生産者と飲食店つなぐ

いたい飲食店が多い一方、農家とつながる手段がなく取り引き実績は少ないのが課題だった。そこで市は昨年度、生産者と飲食店のマッチングを図る「市つくだべプロジェクト」を開始。生産者と飲食店間の情報交換や流通の仕組みをつくる実証実験を行った。

同課は「実証実験で流通の仕組みは整った」として、今後は市民や千葉を訪れた人と同推進店をPRするとともに、市内産農産物の消費拡大に取り組む。「市つくだべプロジェクト」ホームページや交流サイト「フェイスブック」でも情報発信する。

□千葉市夜間応急診療
◇診療時間 午後7時～午前6時(平日)
午後6時～午前6時(土曜・日曜・祝日)
◇診療科目 内科、小児科
◇住所 美浜区磯辺3-31-1
市夜間応急診療(海浜病院内)
☎(279)3131
◆外科・整形外科当番
テレホンサービス☎(244)8080

□千葉市休日救急診療
◇診療時間 午前9時～午後5時(日曜・祝日・年末年始)
◇診療科目 内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科
◇住所 美浜区幸町1-3-9
総合保健医療センター内
休日救急診療所
テレホンサービス☎(244)5353
◆産婦人科当番
テレホンサービス☎(244)0202

千葉



皆さまからの情報をお待ちしております。
E-mail c-nippo@chibanippo.co.jp

編集局

TEL 043(222)9215
FAX 043(224)7001

総務局

TEL 043(222)9211
FAX 043(227)2094

販売局

TEL 043(227)0077
FAX 043(225)8241

広告局

TEL 043(227)0055
FAX 043(222)6540

千葉市消防局出動状況

9日午後3時～10日午後3時
火災 1件
救急出動 156件